明海大学シンポジウム

コロナ禍で変わる学校教育のカタチ

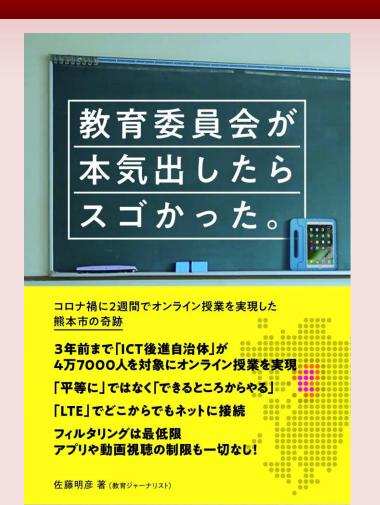
―熊本市「奇跡のオンライン授業」を振り返って―

Zoomオンライン開催(2021年2月6日)

佐藤 明彦

(教育ジャーナリスト/株式会社コンテクスト代表)

はじめに-著書について-



『教育委員会が本気出したらスゴかった。 ―コロナ禍に2週間でオンライン授業を実現した熊本市の奇跡―』 (時事通信社/2020年9月)

2020年3~5月の一斉休校期間中に 熊本市が全市の学校で実施した オンライン授業のドキュメンタリー。

話の内容構成

- ① 一斉休校を振り返って
- ② 熊本市のオンライン授業
- ③ 熊本市の学校のICT活用
- ④ 学校のICT化を巡る今後の展望
- ⑤ 質疑応答

① 一斉休校を振り返って



首相官邸ホームページより

2020年2月27日 安倍首相(当時)による一斉休校要請



全国の99%の公立小中学校が休校に 約1300万人もの小中高校生が 自宅待機を余儀なくされる

① 一斉休校を振り返って





全国各地の学校の対応は・・・ 大半は課題プリントの印刷と配付



生活習慣の乱れ 教育課程の遅れ 児童虐待件数の増加



オンライン授業の様子 (写真提供:熊本市)

そんな中、熊本市では・・・

市内92小学校、42中学校 全てでオンライン授業を実施

期間:4月15日~5月24日

対象:小3~中3(約4万7000人)

熊本市立楠小学校の オンライン授業の 時間割(3年1組)



なぜ、熊本市でそれが可能だったのか



セルラーモデルのiPad (写真提供:熊本市)

【要因①】端末の整備状況

- 〇休校時点で、小中学校に「児童生徒 3人に1台」の端末があった
- 〇端末が通信機能を備えた セルラーモデルのiPadだった

なぜ、熊本市でそれが可能だったのか



2月26日に行われた Zoomを使った実証授業 (写真提供:熊本市)

【要因②】 意思決定の速さ

〇県内に感染者が出ていない頃から、 市独自に休校をシミュレート 〇3月2日時点で4月以降の休校を 想定し、オンライン授業の準備開始

熊本地震の教訓

なぜ、熊本市でそれが可能だったのか



4月6日・7日に教育センターで 行われた集合研修 (写真提供:熊本市)

【要因③】教員へのサポート

〇各校2名ずつを集めての集合研修

OZoomの使い方などを YouTubeチャンネルで配信

〇健康観察から始まる 「スモールステップ」の提示

なぜ、熊本市でそれが可能だったのか



遠藤洋路 熊本市教育長 (写真提供:熊本市)

【要因④】セキュリティに対する考え方

〇日頃から学校裁量で端末の 持ち帰りを認めていた。

Oフィルタリングは最低限。 (教員用はなし)

〇アプリや動画視聴の制限はなし。





全員の意見を電子黒板で共有 『門番のマルコ』(道徳科)

(写真提供:熊本市)



端末(iPad)で作成し た資料での発表



ペアワークでの 音読練習

(写真提供:熊本市)



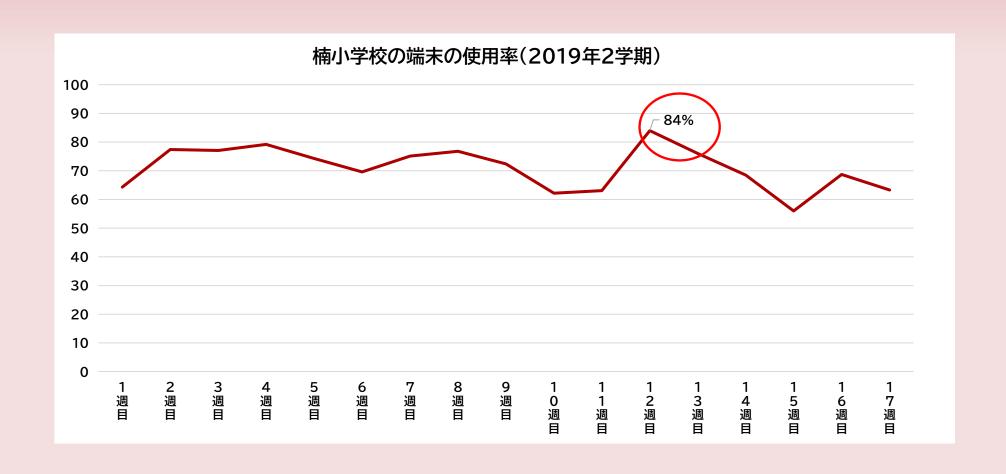


修学旅行への持参・活用



家庭学習での活用(音読カード)

(写真提供:熊本市)



なぜ、熊本市で活用が広がったのか(分析)

【要因①】教員用の端末を導入した

【要因②】教員への手厚いサポート

【要因③】端末の制限を最小限にした

④ 学校のICT化を巡る今後の展望

「GIGAスクール」構想の前倒し

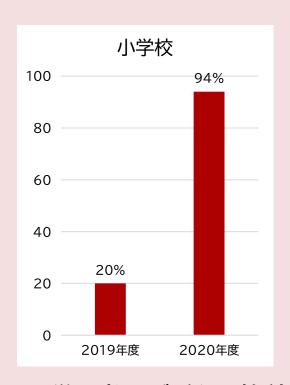


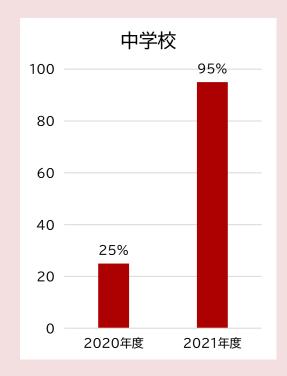
〇99%以上の自治体が 3月末までに「1人1台」を整備

Omobileルータに対する 補助金も拠出

4 学校のICT化を巡る今後の展望

学習者用デジタル教科書の整備





学習者用デジタル教科書の発行状況(中学校)

「学習者用デジタル教 科書普及促進事業」



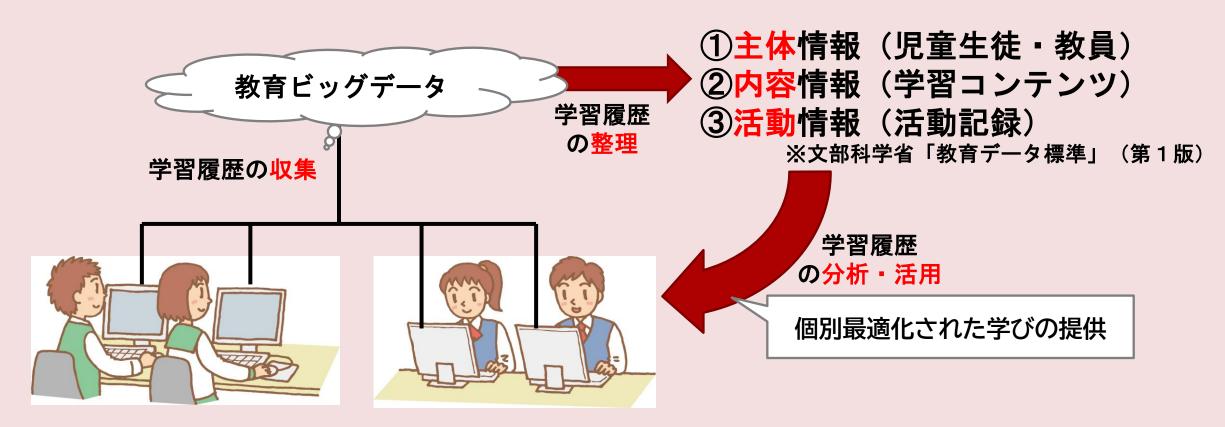
小学校5・6年生の1教科分 中学校全学年の2教科分 学習者用デジタル教科書を整備



ターゲットは「2024年」

4 学校のICT化を巡る今後の展望

教育ビッグデータの活用



4 学校のICT化を巡る今後の展望

内容情報の「学習指導要領コード」

【中学校・英語】の目標

(1) 聞くこと ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、 必要な情報を聞き取ることができるようにする

83H1202110000000 (16桁のコード)

学習者用デジタル 教科書 デジタル化された 副教材

市販のアプリ

動画コンテンツ (YouTube)

「聞くこと」に関連するあらゆるコンテンツが紐づけられる

④ 学校のICT化を巡る今後の展望

今後の課題

端末の活用促進をいかに図るか

- ①端末をどこで保管するか
- ②持ち帰りを認めるか否か
- ③端末の制限をどこまで緩められるか
- ④活用事例の共有をいかに図るか

ご視聴ありがとうございました。